

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 活力と魅力にあふれた、地域と共に子どもを育む学校を創ります。
- ・善しあしをわきまえ、社会のルールを守るなどの規範意識、礼儀を大切にする態度を育てていきます。
 - ・望ましい生活習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む姿勢を育てていきます。
 - ・「分かる」「楽しい」「集中できる」授業を展開し、問題解決的学習を重視しながら、思考力、判断力、表現力を高めていきます。
 - ・集団の一員としての居場所を確立し、他の人のために何かをしようとする姿勢を育てていきます。
 - ・様々な人とかかわる機会を増やし、視野を広げられるようにしていきます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		① 学級集団、学年集団の活動を基盤とした豊かな心の構築を図るとともに、他学年とのつながりであるペア活動を集会、行事、読み聞かせ等で展開、充実させていく。 ② 保護者や地域の方々との協力、支援をいただきながら、自分たちの地域をより意識した活動を展開していくことで、自他を認め、自己肯定感、自己有用感を高めていく。
	担当	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学援隊や教育ボランティアなど保護者は協力的であり、地域には中学校が隣接していたり近くに特別養護老人ホームや保育園があったりして交流を行いやすい。児童は素直であり、行事などみんなで協力してがんばることができるが、「自分にはよいところがある」と考えている児童は少なく、自尊感情の育ちが十分ではない子どもも多く見られる。道徳的価値を理解しているが、行動に表すことが難しいことも多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

「道徳の時間」の充実

- ・「道徳の時間」を要として他教科や領域、行事との関連を図り、全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・学年の発達段階に応じた指導ができるよう、学年間での情報交換を行い、教科書をもとに「私たちの道徳」や今までの教材などを活用して、児童の実態に合った道徳教材を作成したり、校舎・校庭・教室環境を整え、物的な学習環境を充実させる。
- ・研修会や研究会の資料などを全職員で共有し、道徳の時間の指導力向上を図る。
- ・学校・学年だよりや授業参観・懇談会、特別養護老人ホームや保育園との交流を通して相互理解を図り、協力し、連携して児童の道徳性の育成を図る。

体験活動の充実

- ・「クラブ活動」「児童会活動」「ペア活動」等をより充実させ、よりよい生活や人間関係を築こうという態度を育てると共に、自己有用感を味わうことができるようにする。
- ・小中学校での学びを見通した活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験活動」を充実させる。

豊かな感性や情操の教育

- ・合唱クラブを開設したり音楽会を開催したりして、児童の文化的活動を通して豊かな感性の育成を図る。
- ・ペア読書や読書タイムを設定したり、「はまっ子読書ノート」を日常的に活用したりして、豊かな読書体験を通して知性や感性の育成を図る。